

# 令和3年度 第1回豊川市環境審議会 議事録

日時：令和3年11月4日（木）

午後2時00分～午後4時00分

場所：豊川市役所 本34会議室

## ■出席者

（委員）

藤田 佳久（愛知大学 名誉教授）  
大門 裕之（国立大学法人豊橋技術科学大学 教授）  
加藤 勝敏（公益社団法人東三河地域研究センター 常務理事）  
田中 みや子（愛知県地域環境保全委員 代表）  
高木 香苗（豊川商工会議所総務運営委員会 副委員長）  
可知 裕章（一般社団法人豊川市医師会 副会長）  
小原 博一（一般社団法人豊川市薬剤師会 会長）  
安藤 和史（豊川市連区長会 元理事）  
溝口 隆文（ひまわり農業協同組合 総合企画部長）  
山口 五月（豊川リサイクル運動市民の会 会長）  
浜口 比呂子（エコ☆はじめの一步 役員）  
小嶋 正則（とよかわ里山の会 副会長）  
河合 孝枝（東三河総局県民環境部環境保全課 課長）  
菅沼 由貴子（豊川市教育委員会 教育委員）

（事務局）

産業環境部長	鈴木 敏彰
産業環境部次長兼環境課長	中西 成人
清掃事業課長	鈴木 昌範
環境課課長補佐	安藤 清
清掃事業課課長補佐	林 朋幸
環境課環境政策係長	高田 直彦

## ■議 題

（1）豊川市環境基本計画2020実施計画の進捗状況について（令和2年度実績）

## ■会議内容

1 あいさつ

産業環境部長よりあいさつ

## 会議の成立について報告

本日の会議成立についてご報告します。本日は、委員 14 名中 14 名のご出席をいただいております。従いまして、豊川市環境基本条例第 27 条第 2 項に規定されている定足数を満たしておりますので、本日の審議会が成立したことをご報告いたします。

## 配布資料および事前送付資料の確認

### 委員の紹介

## 2 会長及び副会長の選任

会長の選任については、昨年度に引き続き、愛知大学名誉教授の藤田佳久委員に会長をお願いしたいと意見があり、全会一致で承認されました。副会長については、豊川市環境基本条例第 26 条第 1 項の規定に基づき、藤田会長から大門裕之委員の指名がありました。

## 3 議題

### (1) 豊川市環境基本計画 2020 実施計画の進捗状況について（令和 2 年度実績）

#### (事務局)

#### 概要説明及び事前質問の回答【資料 1 及び資料 2】

- ・委員からの意見および事務局回答

#### (会長)

事務局から概要説明と事前にいただいた委員からの質問、意見について、事務局から説明をいただきました。みなさん、ご意見やご質問はいかがでしょうか。

#### (委員)

・たくさんの質問について、ご回答いただきありがとうございました。環境施策は市全体で考えていかないといけない。食品ロス問題や農業に係る施策など、環境課だけで進められるものではないので、所管課と意見交換し、事業を進めていただきたい。

・また、難しいかもしれないが、環境課以外の事業の評価方法について、カーボンニュートラルに関連するような指標に変えられないか。

#### (委員)

・実施計画の実績報告書について、事務局の努力により、一新され、とても分かりやすくなった。

・全ての施策に言えることだが、目標値及びグラフの単位を入れてほしい。

・2 ページ目、エコに関する提案数はなぜ減少したのか、目標達成には何が必要かまで書いてほしい。また、次年度の目標も書けるところは書いてほしいし、次年度に向けた改善案を記載してほしい。

・3 ページ目、コロナ禍で農業市が実施できていないならば、評価できないのであって、×という評価でなくてもよいのではないか。

- ・ 46 ページ目、市民 1 人あたりのごみの排出量が増えているのは、コロナ禍により家庭での滞在時間が長くなっているためだと思うので、その辺を追記してほしい。

また、豊川市は、市民 1 人当たりの 1 日の家庭ごみの排出量が県下 38 中 37 位とワースト 2 位であり、ごみ減らし隊としても何とかしたいと考えている。ただ、ごみの排出量が多いが、ごみ処理費はかなり少ない自治体であることも追記してほしい。

- ・ 今回、実績報告書の構成はすごく良くなったが、もっと改善していくためにも、ここにいる委員がしっかりチェックし、意見を出し合いたい。

(委員)

- ・ 2 ページ目、エコに関する提案数について、児童数の増減によっても評価は変わってくるのではないかと。参考に児童数を記載してほしい。

(委員)

- ・ 豊川の水質は本当に I で良いのだろうか。昔のように多く魚はいないし、新城より北の上流なら理解できるけど。

(委員)

- ・ 下水道の普及により水質は間違いなく良くなっている。また水質階級は水質の程度をあらわす生物を用いて、その水域の水のきれいさを分類している。

(会長)

- ・ 27 ページ目、不法投棄ごみ収集対策事業の内容について、一部分かりにくい表記があるので、改善されたいし、今後の対応方法もあれば、記載してほしい。また、委員のみなさんも他事業で文章の表現がおかしいものがあれば、指摘してほしい。

- ・ この実績報告書は今年度さらに修正していくのか。

(事務局)

- ・ 本日、いただいた意見を反映させ、修正していきたい。また、最終頁にも委員からの意見と市の考えという形でまとめていきたい。その上で、できた案を会長、副会長にはご確認いただきたい。

(委員)

- ・ 今日の審議会までの分のみしか反映できないか。いつまでに意見をだせば修正可能か。

(事務局)

- ・ 今月中までにご意見があればいただきたい。

(委員)

- ・ 不法投棄件数が多いのは、コロナ禍で、町内会によるごみゼロ運動ができていないから、増えていると思う。

(会長)

- ・ 46 ページ目、このようなグラフは強烈な印象を与えるので、ゼロから作成すること、そして、グラフの途中をカットする工夫をする必要がある。

(委員)

- ・ 46 ページ目、食品ロス削減プロジェクトについて、事前に質問したが、質問の趣旨は、規格外の農産物で J A までいかないものが大量に廃棄されており、例えば、トマトは毎年 4

00トン捨てられている。それらを回収して何とか利用できるような枠組みを考えれないだろうか。

(委員)

- ・ガソリン代、段ボール代など出荷すると赤字になるし、従来の集め方では無理だろう。集め方も含めてということか。

(委員)

- ・選果場で集めるとか、農業産地でしかできないと思うので、何かしら豊川市独自の取組を考えられるとよい。

(委員)

- ・文章の趣旨や内容を修正するものなど最終頁で修正点を表記してほしい。

(会長)

事務局は、本日いただいた意見や今月末までにいただいた意見を反映させ、最終的な報告書としてまとめてほしい。

他にご意見等がありますか。

(意見なし)

### 3 その他

事務局からの事務連絡

会議終了